

シリーズひと

## パリ・パラリンピックを目指して

9月にタイ・ブーケットで開催された車いすバスケットボールの「IWBF U23 世界選手権」で日本代表メンバーとして活躍し、優勝に貢献した知野光希選手を紹介します。大会優勝の感想や車いすバスケの魅力について伺いました。



「U23として一番の目標に掲げてきた世界選手権で優勝でき、これまで支えてくれた人たちに恩返しができました。私自身、12人のメンバーの1人として選ばれたことは大変光栄でしたし、世界を相手に戦ったことは本当に貴重な経験となりました」

知野さんが本格的に車いすバスケットを始めたのは中学1年生の頃。その後、中学3年時にはU23の合宿と呼ばれるまでの選手へ成長しました。

「私の武器は『ディフェンス』です。車いす同士の激しいぶつかり合いはもちろん、粘り強いマークで相手の体力を消耗させることも試合の中で重要な役割を果たします」

車いすバスケットでは、リングの高さやコートなどのバスケットボールのルールとほとんど変わりません。

「障がいのある人でも純粋にバスケットボールを楽しめるところが魅力です。また、障がいの重さで割り振られる『持ち点』<sup>※2</sup>によって障がいの重い人にも出場の機会が与えられる平等性の高いスポーツです」

知野さん自身も競技を通じ、代え難い経験ができたと話します。

「車いすバスケットボールは、私にスポーツに没頭する楽しさを教えてくれました。そして、楽しいということだけでなく、努力をすること、目標を達成する道のりの険しさを学べたことも大きな財産だと感じています」

最後に今後の目標を伺いました。「2024年に控えるパリ・パラリンピックを目標に、日本代表選手として選ばれるような実力をつけていきたいです」

### 知野 光希さん(南6丁目)

- IWBF U23 世界選手権 優勝
- 新潟 WBC (車いすバスケットボールクラブ) 所属



知野選手が所属する新潟 WBC の練習の様子を動画で紹介いたします。車いすバスケならではのプレーをぜひご覧ください。



▲練習に取り組む知野選手(写真奥)

※1 IWBF U23 世界選手権…国際車いすバスケットボール連盟が主催する23歳以下の世界選手権。各エリアの代表12カ国が出場  
 ※2 持ち点…障がいの程度により、1.0～4.5まで選手に割り振られる点数のこと。障がいが最も重度なものは1.0、最も軽度ならば4.5となり、コート上の5人の合計点が14.0を超えてはならない。知野選手の「持ち点」は2.0

## 紙上ブログ

燕市長 鈴木 力



広報つばめ・子ども版「もつと、ギョッと、つばめっ子ニュース」の第11号が完成しました。

小学5、6年生17名の子ども記者が4チームに分かれて、5カ月にわたり企画取材、編集の作業をすべて自分たちで行いました。

A・S・O・R・A・I・R・O  
 国上(道の駅国上)、B・郷土料理、C・ハンドパンの魅力、D・元子ども記者というチーム別のテーマのほか、大津分水通水100周年についてもみんなで記事を書いちゃいました。とても素晴らしい出来栄です。よく頑張りましたね。みなさんも子ども記者11期生の努力に大きな拍手を送ってください。

こちらは有料広告です。

高速光インターネット

# NCT 光

燕・分水・吉田エリア

好評受付中!

インターネット + ケーブルテレビ + 固定電話

光300Mbps + 月額 6,600円 (税込)

光おとく割 キャンペーン

※NHK受信料は含まれていません。表記の価格は税率10%に基づく税込金額です。※各種キャンペーンの適用には条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話

エヌ・シー・ティ 0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプに関しては10:00~19:00) ※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広告紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。